総合診療科（地域医療学）

1. 総合診療科の紹介

総合診療科とは、専門化・細分化しすぎた現代医療の中で、全人的に人を捉え特定の臓器や疾患に限定せず多面的に診療を行う部門です。その核となるのは診断学と、包括医療です。前者では、患者さんが訴える「症状」を適切に解釈し、身体診察を行い、それらの情報を多岐に渡る膨大な疾患の可能性を吟味し、鑑別診断を挙げ診断を行います。後者では診断に至らない患者や、医学的な問題はなくても社会的、心理的な問題をかかえる患者さんに対して、多職種連携を行いながら、患者さんを支える医療を提供します。高齢化が進み、患者の疾病の複雑化に対応するべく、地域に根付いた教育と研究、診療活動を行う必要があります。当科ではそれらを得意とする総合診療専門医の育成を目指しています。

2. プログラムの目的と特徴

● 研修場所について

主な研修場所は地域の一次／二次医療を担当する一般病院です。日常診療や救急医療を通し、多彩な疾患を十分に経験する機会を保障します。病院内外での多職種連携、病診連携、往診活動や保健予防活動などプライマリケアの視点を身につけることができます。サテライトセンターでは大学のネットワークを介した学習システムやデータベース利用が可能です。

● 研修医の先生を大切に育てます。

研修医の意向に沿って研修スケジュールを調整します。家庭の事情も配慮したプログラム作成可能です。総合診療の指導医が研修期間を一貫して指導にあたります。問題指向型学習をベースに研修医の問題解決能力を養います。研修医が身体的、精神的に健全かつ経済的に不安のない研修できるように、適切な休暇・給料を保障しています。

3. 経験目標

地域医療を担う医師には、一般的な疾患の診断と治療、慢性疾患の管理、急性疾患の対応、訪問診療など在宅医療や介護保険への関わり、疾病予防（健康診断、予防医学）学校医や産業医活動など多岐にわたる対応が求められます。地域が異なれば住民のニーズも異なります。当プログラムでは、あらゆる地域のあらゆる患者に対し、全人的な医療を提供できる総合診療医・家庭医としての技能の習得を目指します。

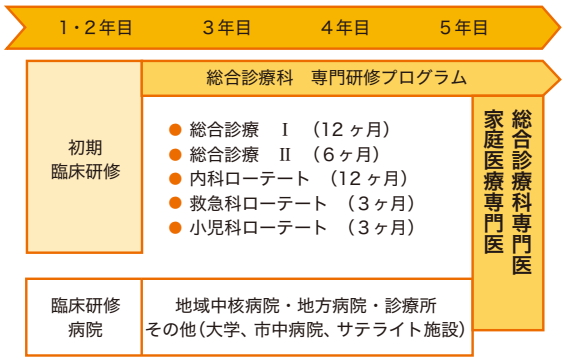
4. 指導医と指導体制

教　授	川本　龍一	総合診療、一般内科、糖尿病
教　授	熊木　天児	総合診療、一般内科、肝胆膵疾患
准教授	阿部　雅則	一般内科
助　教	二宮　大輔	総合診療、一般内科
助　教	菊池明日香	総合診療

5. 研修に関する行事

	月	火	水	木	金
AM	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務	訪問診療	外来・病棟業務
PM	抄読会・救急対応	病棟カンファ・褥瘡回診	画像勉強会・健康教室	地域連携カンファ	病棟カンファ・総回診

6. 新専門研修プログラム



総合診療専門研修プログラムは、地域での総合診療研修Ⅰ、高度医療機関での総合診療研修Ⅱ、内科研修、救急研修、小児研修からなります。ローテートの順番は研修医の先生の意向に添って決定し、また希望する医療機関での研修を調整します。総合診療専門医取得後は、家庭医療や病院総合診療といったサブスペシャリティが選択可能です。

7. 専門研修修了後について

当院でそのままサブスペシャリティの研修が可能です。勤務に関しては個人の希望に応じて、愛媛大学や関連病院での勤務が可能です。また大学院へ進学し、疫学研究をベースとした臨床研究を学びながら、医師として診療を継続することも可能です。個々のプライベートライフを尊重しつつ、柔軟な勤務体制を検討することができます。

8. 専門研修の問い合わせ先

担当：サテライトセンター　担当者　　TEL：0894-72-0180
E-mail：comm-med@m.ehime-u.ac.jp